

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「勇者の娘は三代目魔王」

テーマ：「勇者の娘なのに、反抗期で魔王軍になった美少女」

キャラクター

50

ストーリー

30

テーマ(設定)

40

文章力

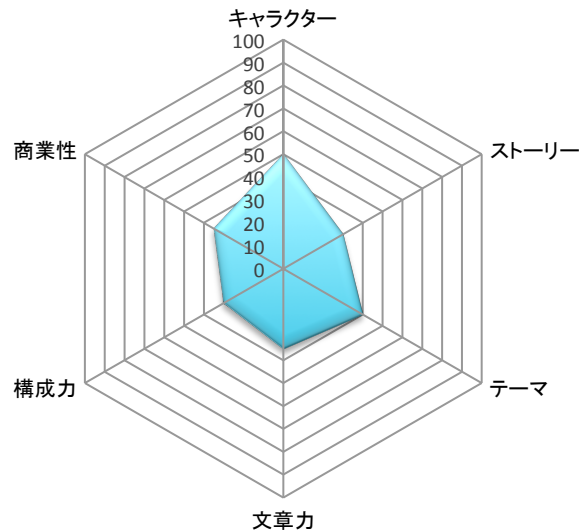
35

構成力

30

商業性

35



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語が都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・さすがに誤字脱字が多い。原因は執筆時間は8時間であったということではなく、推敲時間をあまりとらなかったことにあると感じる。推敲はすればするほど物語の面白さを沸き立たせることができるため、是非推敲の回数を重ねて欲しい。

・ファンタジー世界に現実世界の言葉を持ち込んでしまうと、ファンタジー感を楽しんでいる読み手が冷めてしまう。男女雇用機会やカナガワといった言葉は使わず、地名も完全に外国風の地名を使った方が、よりフィクション感が演出できると思われる。

・元気いっぱいのヒロインは、読んでいるこちらにも元気にしてくれる気がした。この作品の最大の魅力はこのキャラクター性にあると感じる。ただいささかそのババフルさを武器に物語が彼女にとって都合の良い展開になっている感じが否めないため、ほんの少しだけ彼女がしよげてしまうような、そのような障害を作り出すことによってストーリーもキャラクター性もより深い作品になったのではないかな。

合計加点ポイント: 0

総得点: 220 / 600

B方式総合得点: 8067 点